

## 聖家族の祝日の説教

金 大烈 神父 2009年12月27日(日)

### 《キリストを中心におく家族》

おはようございます。

さあ、皆様、今日は何の祝日ですか。『聖家族の祝日』です。聖家族とはどの家族を模範として“聖家族”と呼ぶのでしょうか。マリア様、イエス様、そしてヨゼフ様の事ですよね。ただ、この様に3人の素晴らしい方が集まっているから、聖家族と呼ぶわけではありません。

“聖家族”と言われる理由は何でしょうか。それは、“聖家族”の人らしい生き方をしたからです。大体、人間は、お母さんの胎内にいる時から、この世の傷や愛を受けています。そして誕生し、自分と一緒にいるのが“家族”であることを悟った時から、色々な傷、また逆に愛も倣います。その子供の時に身に付いた色々な傷、愛が今の皆様の性格になっています。

家族は、信者ではない方々にも、すごく大事な“絆”であることは皆、分かっています。では、“聖家族”の基準は何でしょうか。いつも和睦を旨とし、綺麗な笑顔を交わす、その家族を聖家族と言うのでしょうか。

文字的に解釈してみると、“聖家族”はまず信者である事、皆が洗礼を受けた家族を言います。しかし、皆が洗礼を受けた家族でも、バラバラになり、洗礼を受けていない家族よりも、あまり良くない姿を見せている信者の家庭も沢山あります。

本当の“聖家族”の基準は何でしょうか。

やはり、家族には色々な葛藤があります。憎しみもあります。そして愛もあります。どうしてもない感情の世界も必ずあります。しかし、家族です。ですから、私達家族の中で、もし色々な騒がしい出来事があっても、ぶつかりがあっても、葛藤があっても、その中に何とか“キリスト”を中心として置こうという心があれば、その家族は“聖家族”です。

皆様、マリア様、イエス様、ヨゼフ様の共通点があるとすればそれは何でしょうか。それは“自分の考えを立たせようとしないで、いつも神様、御父のみ旨に従った事”です。

さあ、よく考えて見て下さい。イエス様が12歳の時だったとあります。12歳は何年生ですか。小学校6年生でしょうか。自分の“頭が大きくなった”と、よく親に反抗する歳ですよね。マリア様は御自分の子供、イエス様が見えなくなったと3日間探します。何処の居るか。今日の福音の中でよく使われる言葉は“探す”という言葉です。3日間探しました。そして、やっと探し当てた後、マリア様は『何故この様な事をなさったのですか』『何故ここに居るのですか』『お父さんも私も心配しました』と尋ねます。しかし、イエス様は全く予想もつかない答えをします。『自分の父の家にいるのは当たり前ではないですか』。それを聞いたマリア様は、予言者シメオンによって予言された言葉、『あなたは、鋭い剣によって貫かれる、刺される痛みを感じると思います』が、“これから始まる”と予感されたのではないかと思います。とにかく、マリア様の態度は一つでした。『心に収めた』のです。そして、十字架に付けられる息子イエス様の姿を見ても、彼女は『心に収めた』のです。

『心に収めた』とはどのような意味ですか。色々な、自分が納得出来ない事があっても、「これは神様のみ旨」だと思いながら、心に収めた事です。

ある意味で、全ての子供は親にとって、“鋭い刃物”ではないかと思えます。親の心には、子供によって何度も何度も刺されたあざが、真っ青に残っています。しかし、親はその子供を受け入れます。

それが親です。どの様な痛みがあっても親は子供を受け入れます。たぶん、こちらにいらっしゃる皆様のお子様は、外に出て自分の家庭を作っていると思います。皆様がその子供たちの為に出来ることは何でしょうか。財産ですか、他の何かの物があるのでしょうか。

聖家族の祝日を迎えて、もう一度、強調させていただきます。皆様が皆様の子供さん方にしてあげられる事は“祈り”しかありません。絶え間ない祈りです。その祈りによって子供たちは、その親の心を推し量ることが出来ます。

こちらにも、子供さんがいらっしゃいますが、子供の立場として、自分たちは親にとって“十字架”であることを意識して下さい。カトリックでいう“十字架”は重荷そのものではありません。それは、愛によって私達が負わなければならない、“感謝の十字架”です。子供である皆様、親を大事にして下さい。私も一人の親を見送った立場です。自分で出来る精一杯の事を頑張ったつもりでしたが、残るのは後悔でしかありません。「もっとよくやってあげれば良かったのに」という心で、いつも自分の心を痛めています。ご両親が生きておられる時に、本当に心を込めて大事になさって下さい。

これが家族だと思います。この家族の大事さを思いながら、色々な難しさの中にも、み旨に従おうとする心とその真ん中にイエス・キリストが居れば、それが“聖家族”です。

不安があっても、色々なぶつかりがあっても、互いを嫌いにならない様をお願いします。それが家族だからです。その家族の事をもし私達が拒んだら、私達が“立つ”事できる場所はこの世の中にはありません。

“聖家族”、皆様の家族の一人一人の顔を思い浮かべて下さい。神様から頂いた一番大事なプレゼントです。プレゼントへのお返しは“感謝”です。その感謝とし十分にふさわしい態度を見せているか、振り返ってみましょう。

皆様の一番大きな宝物、家族の為に祈らなければなりません。その様にすれば、私達の家族も健康に生きると思います。

ありがとうございました。